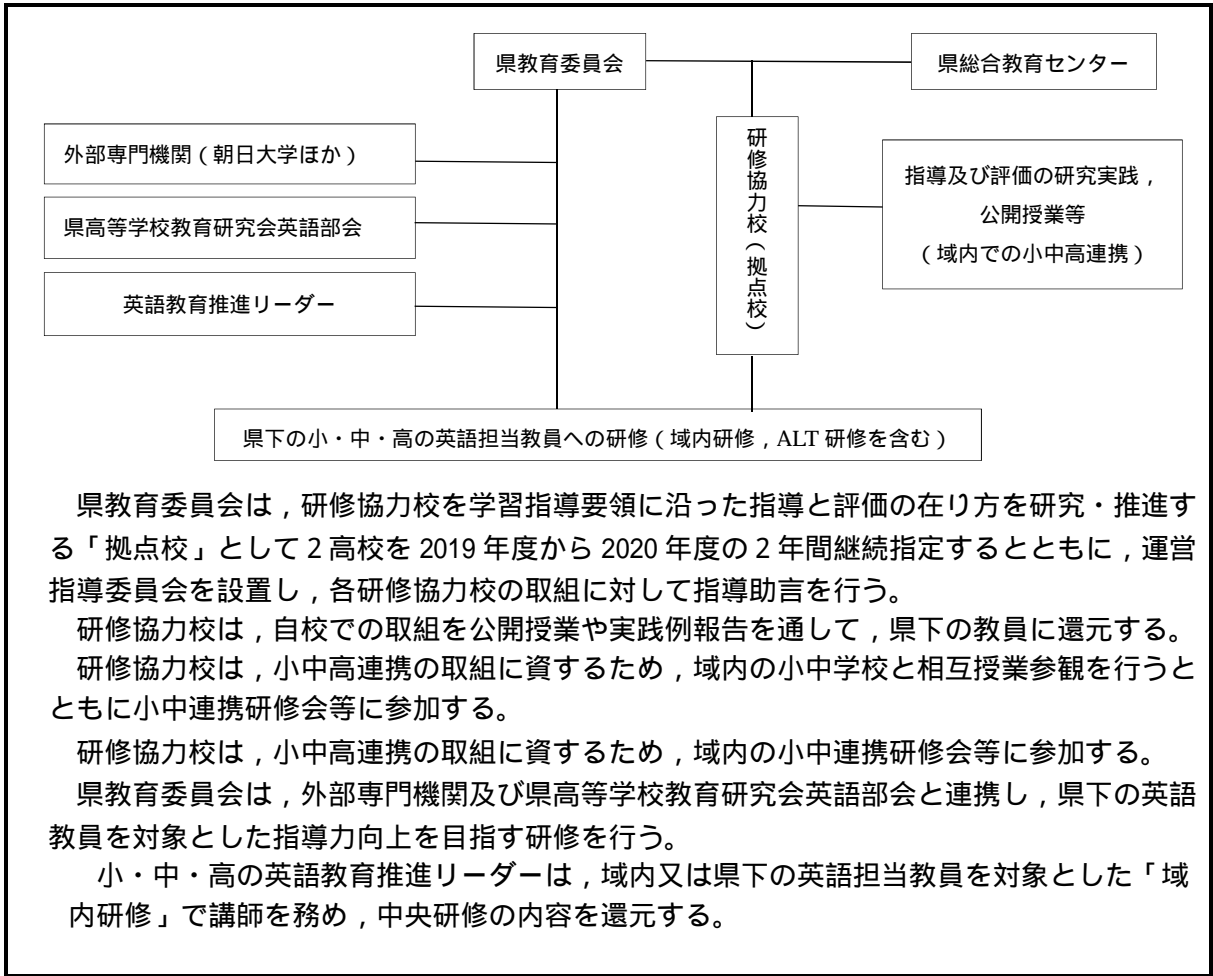


(様式3 - 2)

# 鹿児島県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

英語教育の状況を踏まえた目標管理

求められる英語力を有する担当教員の全担当教員に占める割合

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
中学校	26.7%	27.9%	29.1%	28.9%	30.1%
高等学校	45.6%	49.4%	52.4%	58.8%	61.7%

県教委は、毎年度「英語教育実施状況調査」により現状を把握するとともに、その結果を県下の中・高等学校の英語科職員に周知する。併せて、小・中・高等学校教員に対しては、外部検定試験の受験料を助成し、英検準1級受験希望者に対して受験料を助成する。

求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	2022年度(目標値)
中学校3年	36.3%	32.7%	36.9%	37.5%	50.0%
高等学校3年	28.0%	30.3%	37.6%	37.1%	50.0%

県教委は、毎年度「英語教育実施状況調査」により現状を把握するとともに、その結果を県下の中・高等学校へ周知する。併せて、特に研修協力校の生徒に対しては外部試験特別価格制度の適用による外部検定試験の受験を促進し、英語学習やコミュニケーション能力の育成へ向けた動機付けを図る。

「CAN-DO リスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（数字は％）															
	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度			2022 年度(目標値)		
	設定	公表	達成	設定	公表	達成	設定	公表	達成	設定	公表	達成	設定	公表	達成
中学校	34.2	3.2	18.9	68.2	4.0	39.0	70.6	5.0	49.8	100	5.9	76.4	100	50	95.0
高等学校	93.3	20.8	35.0	91.2	20.4	43.8	100	17.8	40.3	100	17.8	40.3	100	50	70.0

県教委は、平成 30 年度現在の整備状況を県下の中・高等学校に周知するとともに、中学校については、「CAN-DO リスト」の形式での学習到達目標の設定について、研修会を実施し指導を行う。高等学校については、県教委主催で英語教育改善セミナー（2 地区の研修会）を開催し、「CAN-DO リスト」の形式で設定した学習到達目標に基づいた授業設計及び評価の在り方についてワークショップ等を行う。

授業中における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合（「半分以上」の割合）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	2022 年度(目標値)
中学校	63.2%	67.8%	70.4%	81.5%	90.0%
高等学校	29.1%	29.6%	38.6%	40.2%	70.0%

県教委は、平成 30 年度現在の達成状況を県下の中・高等学校に周知する。また、県立高校 3 校で小・中・高校の教員を対象とした公開授業を実施し、「生徒の英語による言語活動を中心に据えた授業づくり」、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善についての理解を深めるとともに、各学校における校内研修を促進する。

「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びエッセイライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	2022 年度(目標値)
中学校	95.7%	96.0%	97.5%	99.8%	100%
高等学校	42.7%	40.9%	53.2%	68.3%	70.0%

県教委は、平成 30 年度現在の実施状況を県下の中・高等学校に周知する。また、すでに実施している学校の実践例を県下全ての公立高等学校に配布し、生徒の学習段階に応じた段階的なスピーキングテストを年間複数回実施するように指導する。

授業中における、英語担当教員の英語使用状況（「半分以上」の割合）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	2022 年度(目標値)
中学校	53.0%	66.0%	67.4%	79.1%	100%
高等学校	38.2%	35.5%	54.9%	49.3%	70.0%

県教委は、平成 30 年度現在の使用状況を県下の中・高等学校に周知するとともに、管理職に各校の英語科の授業参観を依頼する。併せて県立高校 7 校（アクティブ・ラーニング研究員の所属校）で、小・中・高校の教員を対象とした公開授業を実施し、授業研究を通して小中高連携を推進する。

域内の全小学校について、相応の英語力を有する教員の全教員に占める割合

県教委は、平成 30 年度「英語教育実施状況調査」の結果を分析するとともに、外部試験特別価格制度を紹介しながら外部検定試験の受験を促進する。また、「相応の英語力を有する教員」が英語担当者として固定化されないように指導する。

研修実施回数，研修受講者の人数（のべ人数）								
	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		2022 年度(目標値)	
高等学校	10 回	343 人	10 回	335 人	13 回	344 人	12 回	380 人
中学校	12 回	261 人	18 回	398 人	17 回	317 人	18 回	350 人
小学校	12 回	244 人	24 回	691 人	26 回	722 人	20 回	500 人

研修実施回数は英語教育推進リーダーによる「域内研修」を含む。

### (3) 研修の体系と内容の具体

#### 1 研修協力校における取組

- (1) 「英語による授業」及び「言語活動中心の授業」の実践
- (2) パフォーマンステスト（スピーキング・ライティング）の複数回実施と評価方法の検証
- (3) 生徒の理解促進，英語使用場面における効果的な ICT の積極的な活用
- (4) 小中学校の拠点校との連携（研究公開等への積極的な参加）

#### 2 研修会

- (1) 英語教育推進リーダー域内研修  
（3日開催，小学校 180 人，中学校 180 人，高等学校 65 人）
- (2) 新教育課程説明会  
新学習指導要領の趣旨及び各科目の目標について理解を深め，授業改善を推進する。  
平成 30 年度～平成 34 年度に実施する研修会で，参加校は毎年県教委が指定する。
- (3) 外部専門機関と連携した英語教育改善セミナー（一日研修×2 地区）
  - ア 「CAN-DO リスト」の形式で設定した学習到達目標に基づいた授業及び評価の在り方  
（中学 10 人，高校 20 人）
  - イ 統合型言語活動を中心とした授業づくりと評価の在り方（高校 72 人）
  - ウ 小・中・高連携を意識した指導の在り方（小学校 15 人，中学校 20 人，高校 15 人）
- (4) オンライン・オフライン研修（中学校 8 人，高校 10 人）
  - ア 特定の地域（広域地域，へき地等，離島，小規模校）から受講者を選定し，オンライン研修を受講
  - イ 年間 2 回（夏・冬）に県教委主催でオフライン研修を実施
  - ウ 受講者の研修成果をまとめたものを配布・公開
- (5) 外国語指導助手指導力向上研修会（2 日）（小学校 15 人，中学校 80 人，高校 50 人）  
効果的な Team-Teaching の実践例紹介（英語教育推進リーダー，海外留学者の活用）
- (6) 県立学校学力育成支援事業（アクティブ・ラーニング研究開発支援プログラム）（指定校 12 校）  
英語教育推進リーダーは各校の公開授業において指導助言を行う。

#### 3 研修の評価方法

- (1) 各年度の「英語教育実施状況調査」の分析
- (2) 各研修会の参加者による 4 段階（A～D）評価の集計
- (3) 各学校の英語科による本事業の各年度の取組に対する評価（A～D）評価の集計及び要望等の集約

#### 4 その他

外部検定試験受検料助成（小・中学校教員 60 人，高等学校教員 20 人）  
英語ニュースレター（仮称）で研修協力校等の取組について広く県下に広報

## (4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修協力校説明会</li> <li>平成30年度鹿児島県英語教育実施状況調査結果の公表</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修協力校訪問指導（研究計画及び研究授業）</li> <li>第1回域内研修</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修協力校訪問指導（教材開発，研究授業～12月）</li> <li>アクティブ・ラーニング研究開発支援プログラム AL 研究員（12名）に対する研修</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語教育改善セミナー（3地区～11月）</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>オフライン研修（高）</li> <li>第2回域内研修</li> </ul>	
9月		
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校等教育実践研修会</li> <li>アクティブ・ラーニング研究開発支援プログラム</li> <li>英語教育改善セミナー（高校対象）-----</li> <li>アクティブ・ラーニング研究開発支援プログラム研究授業（公開）（～2月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 朝日大学 教授 亀谷みゆき 先生</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語教育改善研修会（小・中・高対象）</li> <li>外国語指導助手指導力向上研修 -----</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大学教授（予定）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回域内研修</li> </ul>	
1月		
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修協力校訪問指導（取組の総括及び研究授業）</li> <li>研究成果を「英語教育ニュース（仮称）」にまとめ，各校へ配布</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度「CAN-DO リスト」の形での学習到達度目標及び評価方法計画の提出</li> <li>県内公立高へのアクティブ・ラーニング研究員の取組成果還元</li> </ul>	
<b>【その他の取組】</b> 研修協力校域内における小中高連携研修会の実施		

